

事務事業名	38920 中学校図書館司書配置事業	予算科目	会計 一般 10 3 2	所管課	学校教育課	担当班	指導班
基本施策	11 学校教育の充実	根拠法令	改正学校図書館法(H26.6.27)ほか	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	<input type="checkbox"/> 新市建設計画
施策の展開	21 教育支援体制の充実	戦略事業	114 学校図書館司書配置事業		<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	<input type="checkbox"/> 主要事業	
施策の展開		戦略事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	●「学校図書館司書の配置」→学校教育の教育内容の充実を目的に、学校図書館司書を各中学校に配置する。学校図書館の環境を整え、市内中学校生徒が図書に触れ合う機会を充実させる。 ●平成27年度からは毎週1日各校に司書が巡回。 【学校図書館司書の主な業務】学校図書館の環境整備(掲示物の作成、季節に合わせた書籍コーナーの設置、図書室への関心を高める仕組み[図書室外含む]、図書便りの作成等)、蔵書管理、新書購入時の助言、生徒に対する図書貸し借り業務、授業の中で扱う書籍の収集、準備(市立図書館との連絡・調整含む)、生徒に対する本のアドバイス・レファレンス、読み聞かせ、ブックトーク(教員の本を同時紹介)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
国では、平成24年度から学校司書の配置が進むよう、単年度約150億円の地方財政措置(1週当たり30時間の職員をおおむね2校に1人配置することが可能な規模の措置)をとった。それをきっかけに、旭市でも平成24年度に募集をし、平成25年度から1人体制で開始した。	平成26年6月27日に、学校図書館の職務に専ら従事する職員を「学校司書」と位置付けて各学校に配置するよう求めた「学校図書館法の一部を改正する法律」が公布され、平成27年4月1日から施行された。これにより、「学校司書」が初めて法令に位置付けられた。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	生徒から「図書館司書さんと本のことを相談できてよかった。もっと学校に来てほしい。」という意見があった。教職員からは、学校図書館司書配置について、「効果がある。」という意見があった(100%)。また「巡回日数を増やしてほしい。巡回日(曜日)を固定化してほしい。」といった要望があった。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算) 単位:千円	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
1. 労災保険料 371: 学校図書館司書1名分	335	366	359	371	388
2. 臨時雇賃金 2,217: 学校図書館司書1名分の賃金	2,153	1,365	2,192	2,217	2,350
3. 普通旅費 2: 千葉県教委主催の研修への参加	0	2	2	2	3
4. 消耗品費 0: USBメモリ等	0	0	0	0	5
② 特定財源の内訳(28年度の決算) 単位:千円	事業費計(A) 千円 2,488 1,733 2,553 2,590 2,746				
1. 国庫支出金 0	1. 国庫支出金 千円				
2. 都道府県支出金 0	2. 都道府県支出金 千円				
3. 地方債 0	3. 地方債 千円				
4. その他 0	4. その他 千円				
	5. 一般財源 千円	2,488	1,733	2,553	2,590 2,746

前年度増減理由	時給単価が年間50円ずつ上がるため(上限1,300円)
---------	-----------------------------

従事職員数 常時 1人 最大 2人 × 12日 = 延べ 24人

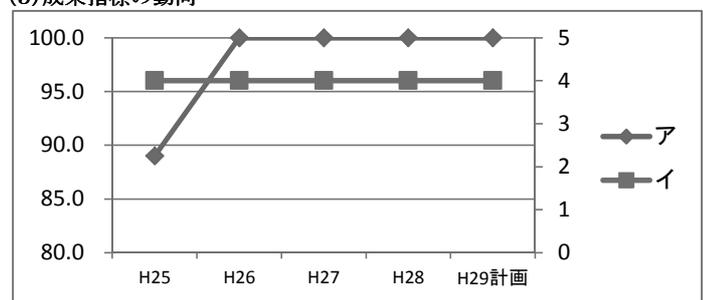
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 学校図書館司書を1名採用し、市内中学校5校を巡回。学校図書館の環境整備と生徒の読書指導を実施。配置に対する年1回のアンケート調査を実施。	ア 学校図書館司書一人の担当校数 イ 1校当たりの年間巡回回数	校	4	4	5	5
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象・学校図書館施設、図書 市内中学校生徒 意図・学校図書館施設が利用しやすい。中学校の心身の発達に資するコーナー(思春期特有の悩み等)を作成することで、生徒が積極的に来館する環境に近づく。 対象・学校図書館施設、図書 市内中学校生徒 意図・「図書便り」を発行して広報活動したり、図書委員と協力して作業を行うことで、学校図書館司書と生徒の本を介した交流が生まれ、市内中学校生徒等が、読書の楽しさや大切さを理解する。	ア 年度末アンケート調査での肯定的評価の割合(%) イ 学校図書館司書が作成する「図書便り」の1校当たりの発行枚数(年間)	%	89.0	100.0	100.0	100.0
			枚	4	4	4	4

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果	② コスト削減優先度評価結果																																														
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">成果向上余地</th> <th colspan="3">成果向上余地</th> </tr> <tr> <th>かなりある</th> <th>ある程度ある</th> <th>ほとんどない</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">施策貢献度</th> <td>大きい</td> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小さい</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果向上余地	成果向上余地			かなりある	ある程度ある	ほとんどない	施策貢献度	大きい	②		普通			小さい			<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">コスト比率</th> <th colspan="3">コスト比率</th> </tr> <tr> <th>下位 1/3</th> <th>中位 1/3</th> <th>上位 1/3</th> </tr> <tr> <th rowspan="9">評価結果</th> <td>①</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>(2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④⑤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦⑧</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	コスト比率	コスト比率			下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	評価結果	①			②	(2)		③			④⑤			⑥			⑦⑧			⑨		
成果向上余地		成果向上余地																																													
	かなりある	ある程度ある	ほとんどない																																												
施策貢献度	大きい	②																																													
	普通																																														
	小さい																																														
コスト比率	コスト比率																																														
	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3																																												
評価結果	①																																														
	②	(2)																																													
	③																																														
	④⑤																																														
	⑥																																														
	⑦⑧																																														
	⑨																																														

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項(29年度に取り組む主な事項について記載)	時期 30年3月(8月除く)まで 内容 ①図書便りの発行回数を増やす ②担任と学校図書館司書との連携を図り、チームによる授業を行う。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()
評価内容	比較 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 ア 89.0 11.0 0.0 0.0 0.0 イ 4 0 0 0 0

国の示す目安では、学校図書館に関する業務に従事する職員(1週当たり30時間相当)をおおむね2校に1人配置するという数値がある。(学校図書館整備5カ年計画)旭市の現在の体制は、5校に1人配置なので、それに近づけていくために、学校図書館司書としての雇用者数を増加していく必要がある。